



家庭科 全国大会を終えて

横浜市立東小学校

校長 保科 桂子

10月27日に、第60回全国小学校家庭科研究会全国大会 神奈川大会において、授業公開をいたしました。当日は、横浜市内はもとより北は北海道から南は九州まで、来賓や役員含めておよそ170名の方に東小学校にお越しいただきました。本校PTAの皆様にも、日ノ出町駅から学校までのご案内や誘導、受付等のお仕事でお力添えいただきました。早朝からありがとうございます。

5年生、6年生の家庭科の中でも、特に食にかかわる題材についての授業の様子を参観していただきました。

◎5年1組

「食べて元気に ご飯とみそしる」の学習の中で、基本のみそ汁を作った経験をもとに、「家族のために、食べて元気になるオリジナルみそ汁」を作るための、みそ汁の実（具材）の取り合わせを考える授業でした。旬や好みやおかずとのバランスなどを意識しながら、一人ひとりが自分の考えをもととしている学びの様子を見ていただきました。

◎5年2組

「食べて元気に ご飯とみそしる」の学習の最後の時間を見ていただきました。「家族が食べて元気でおいしいオリジナルみそ汁」を実習で調理した経験を振り返り、家庭実践するための計画をレベルアップする授業でした。子どもたちは、ペアの友達と自分の見直した計画を伝え合い、「できそう」「やってみよう」と自信を深めていました。

◎6年1組

「家族のためにつろう 1食分の献立 ～給食プロジェクト編～」の学習の中で、子どもたちが共通の話題にできる「給食」をもとに、1食分の献立づくりに取り組みました。栄養バランスや旬、色どりなどを意識し、どんな副菜にしたいか、みそ汁の実は何にするか、グループごとに考え、発表しました。栄養教諭とも連携し、より学習を深めることができました。

◎6年2組

「家族のためにつくろう 食分の献立 ～家庭実践編～」の学習の1時間目で、今までの2年間の家庭科の学習の中で、できるようになったことを振り返り、「家族や身近な人に〇〇ごはんを作れるようになろう」と課題を設定する学習を見ていただきました。一人ひとりが、できるようになったことを実感し、家族のために役立ちたいと思いをもち、これから始まる2年間最後の食の学習への意欲や見通しをもとうとしていました。

東の子どもたちがひたむきに学びに向かう姿勢に、学び合う姿があふれる授業をつくっていた取組に、多くの方から「素晴らしい」「がんばっている」と評価のお言葉をいただきました。ここに至るまで、授業研究を行ったり、大学教授や他校の先生方など多くの方に指導していただいたり、他校の授業実践を検討したりと、積み重ねてきました。「東っ子の実態にあった、よりよい授業をつくりたい」という思いが詰まった1時間になりました。とはいえ、国際教室や個別支援学級担任も含め、授業にかかわる教職員の愛情をたくさん感じる、「いつもながらの東の授業だなあ」とも感じた1時間でありました。

小学校の授業は家庭科だけではなく、家庭科を切り口に授業づくりを深められたこの機会は、東小学校の教職員にとっても大変有意義な機会となりました。これからの東っ子の学びや育ちにつなげていきたいと思えます。

